

伝統の技に挑戦

伝統の技などを体験しながら学ぶ「子ども体験教室」が3月12日に市立博物館で行われました。今回のテーマは、「和紙作りに挑戦」。子どもたちは講師の指導を受けながら、無形文化遺産に登録された細川紙と同じ材料を使った和紙作りにチャレンジしました。おじいちゃんの家にある障子を見て和紙に興味を持ったという小学1年生の



「紙すきの道具が重くて、難しかった」と姉のひよりさん(小学4年生・右)

田村光雅くん(砂)はお姉さんと参加。「とても楽しかったです」と、出来上がったばかりの世界にひとつだけの和紙を大事に持ちながら、満足そうに話してくれました。

ライナと一緒に！

3月14日、中央保育園に西武ライオンズのマスコットキャラクター・ライナ



みんなでポーズ

がやって来ました(株式会社西武ライオンズとの連携事業)。ライナの突然の登場に子どもたちはびっくり。一緒に元気よくダンスを踊ったり、野球体験をしたりしました。その後、ライナからサイン色紙やTシャツなどのプレゼントをもらおうと「ライナかわいい」など子どもたちの喜びの声が保育園に響いていました。



ひとまち

ふおとニュース

ひとまち



春の小江戸は江戸情緒いっぱい

3月26日から小江戸川越春まつりが始まりました。迫力満点の川越藩火縄銃鉄砲隊の演武や息のあった星野高校吹奏楽マーチングバンド部の演奏などが披露され、春まつりのオープニングを盛り上げていました。



今回、一番街商店街の皆さんが江戸時代から続くおもてなしの心をお客様に分かりやすい形で表現したいとの思いから開催した「小江戸川越・江戸の日」。商店の店員などがちゃんまげや着物姿でお出迎えをしたり、時代劇の上演をしたりなど、さまざまな催しが一番街で行われました。館林市から家族で来たという田口穂果さん(小学2年生・左上写真右)は、「ちゃんまげや着物姿の店員さんがいてびっくり」とお団子を食べながらにっこり。行き交う人たちは、いつもとは違う雰囲気の一歩街を楽しんでいました。



本格的な時代劇

